

第 5 班

1 タイトル：公共交通活性化とまちづくり

2 報告書概要：今後我が国は、少子・高齢化の進行により、加齢等による自動車運転困難者の増加が想定されるが、一方、自動車の普及とそれに伴う都市のスプロールにより、地方の公共交通機関利用者は減少の一途をたどっている。

住民の移動手段確保のための、公共交通機関の整備に関しては、道路同様「生活の社会基盤」との認識に立って整備するとともに、都市にも住民の利用を促す仕組み作りが求められると考え、次の提言を行った。①既存の交通資源を有効活用した公共交通機関のネットワーク化、②公共交通機関の周囲への公共施設の集積、③駐車場化を防ぐ土地の有効活用、④制度見直し。

3 引用している事例：①富山市（LRT）、③金沢市（駐車場条例）

4 アンケート調査の有無：無